

報道関係各位

医療×教育 医療複合施設のカフェに「教室」。近隣中学校の挑戦「登校のススメ！」に賛同

「登校しない」が増える中 「さくら class」 開室1年。社会課題の解決に新しい対策を！

医療複合施設「i-Mall」を運営する医療法人医誠会（本社：大阪府大阪市北区 代表者：谷 幸治）は、全国的に増加する不登校への挑戦的な取組みに賛同し、2024年2月より大阪市立天満中学校の子どもの居場所づくりプロジェクトの支援をおこなっています。

「中学校の外に教室を開室し、中学校に足の向かない生徒を登校させたい」との要望に応え、ヘルシーカフェ「さくらテラス」の2階多目的スペース「サロン」を無償で貸し出すことにしました。

多くの医療従事者が働く施設内には警備員が常駐、ガラス張りの明るく静かでスタイリッシュな有料レンタルスペースにある教室は、快適で安全です。学校の教室に代わる場所として申し分ない環境の「さくら class」は、週に2回、9：30～11：30 中学校のクラスの1つとして生徒を迎えています。



ゲームをしながらの対話コミュニケーションタイム

【本件に関するお問合せ先】

医療法人医誠会 広報担当：為川（ためかわ）

電話：06-6312-2151 / 080-2448-0956 メールアドレス：koho@holonicsystem.com

スタッフ体制を強化して「さくら class」 開室周知

この一年間の活動で得た確かな手ごたえ

2024年4月には、大阪市立天満中学校校内での周知とスタッフ体制の強化が行われ「さくら class」が本格始動しました。当初、対象となる生徒と保護者へ教室開設の説明と案内をしても登録者は数人という状況でした。医療複合施設の中で体験できるアクティブラーニングの提案に対し「家からさくら class に来て、会話をするだけでも進歩」という先生の言葉に、本当にそれでいいのだろうか？との思いで活動を見守る日々でした。2025年2月、担当の先生方から初年度の活動報告を受けました。70回開室で登録者数も19名となり、学習支援や課外活動の実施など内容も充実してきました。「さくら class」と中学校内にある「結びクラス」を併用する生徒が増えるなど、中学校への架け橋としての役割を果たしているようです。この活動に踏み切った先生方から「手ごたえを感じている」という頼もしい一言がありました。



左：保育園さんの食育を目的とした「さくらテラスガーデン」で水やりをお手伝い



右：担当教諭の指導のもと、それぞれの課題学習に取り組みます

「さくら class」の支援継続決定！地域での支援の広がり期待

義務教育の中断を長引かせない早期での対策を

医療法人医誠会は、2025年度も引き続き「さくら class」の支援を継続します。今後、地域の中で活動支援の輪が広がり、中学校へ進学前の児童も対象になることを期待しています。様々な経験が得られる義務教育の中断を回避するために、より早期に支援が届く環境を整える必要があります。

「さくら class」のある医誠会国際総合病院には、医師、看護師、臨床心理士など、子どもたちの健康のエキスパートが在籍しています。医療的サポートが必要な場合はその対応も可能です。今後も地域の皆様とともにこの活動を支援して参ります。

【本件に関するお問合せ先】

医療法人医誠会 広報担当：為川（ためかわ）

電話：06-6312-2151 / 080-2448-0956 メールアドレス：koho@holonicsystem.com